

2025年10月10日

2025年9月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判は学参・金融関連以外のスポット案件が少なく、昨年をやや下回る販売量となった。

巻取についても学参、生損保、金融を中心に昨年並みの数量となった。

（前年比 平判 96.8% 巻取 100.6%）

再生紙平判は役所、官公庁関連、広報誌の定期案件の受注に因り前年並みとなった。

巻取も広報誌関係の定期案件に加え、金融・保険関係が堅調に推移し、前年を上回った。

（前年比 再生上質平判 103.7% 再生上質巻取 134.4% 再生上質計 118.5%）

（前年比 印刷用紙 A 全体 97.4%）

<A2 コート>

平判はイベント関連、カレンダー、学参関連のパンフレット等で一部動きがみられたが、全体的には目立ったスポット案件がみられず、グロス、マットともに前年を下回った。

巻取は食品デリバリー、スーパー、ホームセンター、イベント関連等で一部動きがみられ、百貨店の歳暮カタログ等も前年並みの受注量を維持している。マットは前年を超えたがグロスは前年を少し下回った。

（前年比 平判 93.2% 巻取 107.1% 全体 95.4%）

<A3 コート>

スーパーや食品デリバリー等で一部動きがみられたが、教育関連、生損保、不動産等のチラシの動きが悪かった。カタログ関連の落ち込みも続いており、平判は前年を上回ったが、巻取は前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 105.7% 巻取 67.4% 全体 77.5%）

<ノーカーボン紙>

巻取は歳末商戦申込書の動きは見られたが、他目立ったスポットの動きもなく低調。平判は金融系手書き帳票の動きは一部見られたが、生損保系の動きは低調で前年を下回った。

（前年比 平判 95.7% 巻取 81.5%）

<上質フォーム>

生損保向けの控除証明ハガキの動きや中央官庁の案件に動きがあり、また前年低調だったことの反動もあったため大幅に上回った。来年度の自治体の帳票仕様変更に伴うテスト出しも始まっている。

（前年比 108.3%）

<包装用紙>

封筒関連では特に大型の受注は見られず、低調であった昨年とほぼ同等の動きとなった。

純白ロールはお彼岸向けや連休向けの包装関連、緩衝材用途などにも動きがみられ、例年並みの数字となった。

包装紙全体では 108.8%と昨年を上回った。

(前年比 108.8%)

<板紙>

コートボールは、残暑の影響により菓子向けパッケージが低調であった。

特板は食品テイクアウト需要が好調。

高板はトレーディングカード関係が引き続き好調。また、POP 向けに一部動きが見られた。

チップボールは梱包資材関係が横ばいであったが、貼り箱は好調だった。また出版向けの一部に動きが見られた。ただし、前年低調からの反動増の影響もあったと思われる。

板紙全般では物価高の影響もあってコートボールは低調であったが、高特板とチップボールが好調だったため前年を上回る荷動きとなった。

(前年比 103.0%)